

建設水道委員会会議録

1. 開催年月日

平成31年 1月15日 開会 12時57分 閉会 14時25分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

荒木謙二 坊野公治 大滝文則 上野安是

細羽敏彦 多賀信祥

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 西田久志

(2) 副議長 惣台己吉

(3) 事務局職員

事務局長 川田純士 事務局次長 藤原靖和

主査 柳本兼志

6. 傍聴者

(1) 一般 0名

(2) 報道 0名

7. 発言の概要

委員長（荒木謙二君） ただいまから建設水道委員会を開会いたします。

初めに、議長のごあいさつをお願いします。

〈議長あいさつ〉

(1) 所管事務調査

・新規就農による移住・定住施策について

委員長（荒木謙二君） 前回の委員会において、政策提言書（案）の詳細な文面について協議いたしました。その後、その協議内容を反映した政策提言書（案）を皆様に事前配付をさせていただいております。今回は、政策提言書案の最終確認として、全ての文面について

ご協議をしていただきたいというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、政策提言書（案）の全ての文面について協議していきたいとします。それぞれ項目ごとに事務局が文面を読み上げ、その後に皆様のご意見をいただきたいというふうに思います。

まず、表紙及び目次について、事務局、説明をお願いいたします。

主査（柳本兼志君） 表紙ですが、新規就農による移住・定住施策に関する政策提言書、今のところ案としております。下のほうに井原市議会と言葉を入れています。こちらにつきましては、最終的に全員協議会において井原市議会として提言をするということになったことを想定しまして、井原市議会と入れています。

目次につきましては、今回初めて入れさせていただきました。今入れておりますのが、それぞれの項目、1、はじめに、2、調査の経緯、3、所管事務調査の実施内容、4、行政視察の実施内容、5、所管事務調査や行政視察から見えてきたこと、6、具体的な提言内容。そして、資料として、資料1、井原市移住・定住支援制度、資料2、井原市地域別人口推移、資料3、新規就農者の推移、資料4、井原市新規就農者支援施策、資料5、新規就農者支援施策に係る先進事例、資料6、農業後継者に関するアンケート結果、資料7、新規就農者へのアンケート結果、資料8、就農時に苦労したこと調査結果として目次を作成させていただきました。

また、別途1枚紙で表紙のほうを配付させていただいておりますが、これは前回の委員会で話が少し出たようですが、1行目と2行目のタイトルを左寄せといいますか、そろえた形の表紙の案を配付させていただいております。どちらがいいかにつきましても決定していただけたらと思います。

委員長（荒木謙二君） 今事務局のほうから表紙及び目次について説明がありました。

表紙については、私がちょっと記憶していたんですが、左寄せというふうな意見が前回あったのではないかとということで、急遽事務局のほうに左寄せの案もつくっていただきました。センタリングをした分と、左寄せの分、どちらのほうがよろしいでしょうか。

委員（上野安是君） 左寄せでいいと思います。

委員長（荒木謙二君） ほかの委員の方は。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、表紙については左寄せでいくということで決定いたします。

次に、目次ですが、今回初めて作成してあるということですが、それぞれ1から6までの項目、そして資料1から資料8までの表に出したというふうなことです、何か皆様方からありますでしょうか。それと、次ページ以降にページが入っているようです。

主査（柳本兼志君） 濟いません、少し気になったところを提案させていただければと思います。資料ですが、井原市の資料と全国といいますか、国内の資料がまじっております。そのため、もう少しわかりやすく題名をつけたほうがいいのではないかと思います、資料3と資料5と資料8、この3つは国内の資料を参考につけているんですが、資料3と資料5に関しましては、頭に例えば「国内の」という単語をつけるとか、あと資料8でいいますと「就農時に苦勞したこと」の後ろに「全国」を入れて「全国調査結果」とする等を少し考えてみたんですが、ご協議いただければと思います。

委員長（荒木謙二君） 今事務局から、ページでいきますと12ページ、資料3、それと資料5じゃから14ページの頭に「国内の」を入れたらどうかというふうな説明でありましたが、いかがでしょうか。

まず、資料3と資料5の頭に「国内の」を入れるか、入れないか。

委員（上野安是君） 資料3については「国内の」があったほうが見やすいと思います。資料5は、別に「国内」要らんのかなと思います。資料8については、「全国調査結果」としたほうが良いと思います。

委員長（荒木謙二君） ほかの委員の方、よろしいでしょうか。

上野委員のご意見に賛成ということでよろしいですか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは目次も資料3については「国内の」を入れると。

資料8については「調査結果」の前に「全国」を入れるということで、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは次に、「1. はじめに」について事務局、読み上げをお願いいたします。

主査（柳本兼志君） 先ほど委員長のほうからありましたが、「1. はじめに」以降に全てページを入れさせていただいております。ページにつきましては、それぞれの発行する紙

面等によっては「はじめに」のページにページ番号を入れてないものも確認していますが、この政策提言書の「1. はじめに」には説明内容も含まれているということで、「1. はじめに」からページ数を入れております。

それでは、「1. はじめに」を読み上げさせていただきます。

〈事務局、政策提言書（案）「1. はじめに」を朗読〉

委員長（荒木謙二君） 前回変更したところも修正されておるようでございます。5段目の中山間地、これは前回ではこのままでよかろうというふうなことでありましたし、市北部地域はこういった括弧書きでというふうなことでしたし、いかにの漢字を平仮名、それから下のほうの提言書の前に政策を入れるとか、かかわらずを平仮名にとかというふうなことで、前回から全て修正がされておるようですが、皆様方から何か、「1. はじめに」についてご意見ありますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） 事務局から何かありますか。

主査（柳本兼志君） 濟いませぬ、少しここでもご協議していただけたらと思うところを数点上げさせていただければと思うんですが。

上から本文の3行目、4行目あたりのところなんですが、今現在平成30年9月末現在の人口という記載をしておりますが、これにつきましては現在12月末のデータまで出てきております。このデータにつきましては、翌月の10日あたりに市民課が新しいものを出されるようです。このデータにつきましては、今後更新等をしたほうがいいのかという点と、その後の約6,000人の人口減少というところも、それに伴って変更したほうがいいのかという点をどういたしましょうか。

委員長（荒木謙二君） 市民課のほうから、翌月の10日ごろ。

主査（柳本兼志君） はい、例えば1月末の数字は2月10日あたりに数字が出てきます。

委員長（荒木謙二君） そうしたら、12月末の数字が今出ているの。

主査（柳本兼志君） 今現在ですと、12月末まで出ております。

委員長（荒木謙二君） 今現在では12月末のが出ておるというふうなことでありますが、それについて、9月現在でいくか、12月現在でいくかというふうなこと。

委員（上野安是君） 最新に更新したほうが良いと思います。

委員長（荒木謙二君） ほかの委員の方は。

委員（坊野公治君） 1 2 月末データで良いと思います。

委員長（荒木謙二君） 最新のデータでというふうなことで、ここを書き直させていただきます。

ほかに事務局ありますか。

主査（柳本兼志君） あと、3月実際に提言書を出すことになりましたら、最新データでよろしいですか。

委員長（荒木謙二君） 最新で。

主査（柳本兼志君） はい。続いて、前回これはもうこのままでいいということで決定していただいているんですが、5行目の中山間地という単語について、事務局や執行部としては国や県で使用している中山間という単語でとらまえてしまうわけですが、県等で規定している中山間という単語では井原市全域が中山間地域ということになるので、ここでの記載が少しひっかかる場所なんです。

ただ、ここでの中山間地という表現は井原市における北部地域というような意味合いであるとか、北部地域以外の例えば高屋奥でありますとか、稲倉などの山合いの地域という意味合いで中山間地を理解するというのであれば、文章も何となくわかるのかなという気もしますが、少し中山間地という単語、特に中山間という単語が、国や県が使う中山間という単語と混同されるのではないかと気になるんですが、前回の委員会でこのままでいいだろうというようなことで決定していただいているんですが、再度蒸し返すようなことで申しわけないんですが、少し気になっておりました。

委員長（荒木謙二君） 前回、下のほうは市北部地域と直すというふうなことでしたが、ここ「特に」の後の中山間地というのはこのままでいいというふうなことでした。今事務局が中山間というのは井原市全体を意味する単語であるというふうなことで、ちょっと微妙ではないかというふうなことで、委員の方。

委員（坊野公治君） この文章を読みますと、最初の部分は全国的なことというか、そういうところを言っているんで、この中山間地というのは井原市全部を含めての中山間地で私はいいと思います。

その下に、「井原市においても同様であり、市北部地域」と、井原市においては市北部地域というふう限定してあるので、この文章に関しては、この中山間地というのは全国的に見て中山間地という意味にとれますし、それで私は文章的に問題ないと思いますが。

委員（上野安是君） 結果的に中山間地で問題ないと思います。ただ、この中山間地と

いうのはやっぱり井原市における中山間地の意味じゃねんかなと思うんだけど、その前の「特に」が井原市の人口減少にかかっているんじゃないかな……。

まあ、中山間地という単語の説明は何となく意味わかったんだけど、後ろに「特に市北部地域」の説明も出てくるので。だから、変えなくていいという意見ではあるんですけど。

委員長（荒木謙二君） ほかの委員の方は、もう変えなくていいということでいいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、このままでいかせていただきます。事務局。

主査（柳本兼志君） 濟いません、続けて……。

委員（大滝文則君） もうええんじゃ、もう少々のごことはええで、どがんことがあるんな。

委員長（荒木謙二君） 事務局、ええよ。

主査（柳本兼志君） 続けてよろしいでしょうか。

委員長（荒木謙二君） はい。

主査（柳本兼志君） 下から2段落目、「このような視点の中で」というところの、「視点の中で」という単語が少し気になりまして、例えば「視点で」とか、「課題について」とかという単語のほうが少し読みやすいかなと思います。

委員長（荒木謙二君） ほかに、「1. はじめに」であつたら、まとめて説明を。

主査（柳本兼志君） 下から5行目になるんですが、括弧で所管事務調査の目的を記載しておりますが、新規就農者による移住・定住施策をとという記載をしておりますが、後ほど出てきます所管事務調査の実施内容で、それぞれ実施した所管事務調査のテーマを書いておりますが、そこを見ていただきますと、新規就農者による移住・定住施策については平成29年度は具体的には協議をしていないということがありまして、このままにしておくか、細かい話ですが、平成29年度を取るか、正確に後ろの所管事務調査の実施内容とあわせますと、新規就農者支援や移住・定住促進についてという2つ別々のテーマを記載するとか、少し気になっています。

最後にもう一つ、一番最後の段、下から2行目になりますが、「本研究調査の実施において」となっておりますが、提言書内のほかの記載では「調査・研究」という単語を使っております、それとあわせたほうがいいのかないかなというところです。

委員長（荒木謙二君） 今の事務局の説明について、いかがですか。

委員（上野安是君） 下から6行目の「視点の中で」は「視点で」がいいと思います、
それから、下から5行目は「平成29年度より」を取る。
下から2行目は、「本調査・研究」に直す。

委員長（荒木謙二君） ほかの委員の方、今上野委員の変更案について何かありますでしょうか。

委員（大滝文則君） もうやめえ、もう。

〈休憩し、協議方法について協議〉

委員長（荒木謙二君） 字句の整理になるんですが、「視点の中で」は「視点で」に直す、平成29年度というのはこのまま残す、それから最後の行、「本研究調査」は「本調査・研究」に直すということによろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） ほかに、「1. はじめに」で何かありますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、「2. 調査の経緯」について、事務局、読み上げをお願いいたします。

〈事務局、政策提言書（案）「2. 調査の経緯」を朗読〉

委員長（荒木謙二君） このページでは、前回、一番下の政策提言書の「書」を加えています。

委員の方で何かありますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） 事務局、何かありますか。

主査（柳本兼志君） また細かい点になるんですが、1行目ですが、「現在井原市議会で

実施している平成28年の市民の声を聴く会とありますが、「実施している」か、「実施した」か、どちらがいいのかと思いました。

また、下から3行目、括弧書きのところですが、「井原市の移住・定住促進施策」という表記にしておりますが、最初は井原市の移住・定住促進施策を調査研究しましたが、その後いろんな都市等の施策についても調査研究したので、「井原市の」を入れたほうがいいのか、入れないほうがいいのかという点、どちらがいいのかと思っております。

委員長（荒木謙二君） いかがでしょうか。

委員（坊野公治君） 文章的には「実施した」でもいいとは思いますが、継続しているので「実施している」でいいと思います。

下の文面については、このままで文章よろしいと私は思うんですが。

委員長（荒木謙二君） ほかの委員の方は。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） ないようでございますので、原文のままというふうなことで進めさせていただきます。

次に、所管事務調査の実施内容について、事務局、読み上げをお願いいたします。

〈事務局、政策提言書（案）「3. 所管事務調査の実施内容」を朗読〉

委員長（荒木謙二君） 前回の修正箇所は、4ページの7月30日、括弧の後に点があったのをなくしております。それと、それぞれの項目で、移住・定住に中点を入れるというふうに直している状況でございます。

委員の方、何かありますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） 事務局、何かありますか。

主査（柳本兼志君） 最初の平成29年6月20日のところですが、これも文章が読みやすいかどうかだけのことになりますが、「主に農業者のための公営住宅法に係る市営住宅建設」と書いておりますが、ここの「公営住宅法に係る」と「農業者のための」の順番を入れかえたら、「主に公営住宅法に係る農業者のための市営住宅建設」と少し読みやすいのかな

と思っています。

また、そのときの出席者を確認したんですが、執行部の出席は、この調査のときはもう退席されていて委員間だけで所管事務調査を実施しておりますので、「執行部の出席を求め」を取ることなると思います。

また細かい話になるんですが、平成30年6月19日のところ、今年度の行政視察のテーマですが、移住・定住施策についても行政視察を実施しておりますので、それも加えたらどうかと思っています。

4ページになりますが、「新規就農者による」という記載、9月14日、10月16日、10月19日、12月11日にあるんですが、現在の提言書のタイトルと同じように新規就農者の「者」を取ったらどうかと思っています。

委員長（荒木謙二君） まず、6月20日、執行部の出席はなかったという事実でありますので、取るというふうなことでよろしいでしょうか。

委員（坊野公治君） 取っていいと思います。

委員（大滝文則君） ちょっと確認ですけども、出席がなかったというのは、ちょっと記憶が定かでないんですけども、全くなかったのか、執行部から説明を聞いてその後にそういう委員間で協議をしたとか、どういうふうになってましたか。

主査（柳本兼志君） 平成29年6月20日の所管事務調査につきましては、例年6月で実施しております平成29年の主要事業についての所管事務調査まで執行部が出席しております、その後の作業場つきの調査に入る前に執行部は退席されております。

委員（大滝文則君） そうなってくると、法的解釈についてを議員間で調査をしたということですかね。

主査（柳本兼志君） そのとおりです。局長等の発言もありますが、公営住宅法上不可能というような解釈になるかというところを委員と事務局だけで意思統一を図ったという感じの調査内容です。

委員（大滝文則君） 局長が法的解釈の説明をしてたということで、わかりました。ちょっとそのあたりが定かでなかったのもので。

委員長（荒木謙二君） この「執行部の出席を求め」というのは削除でよろしいですか。

〈異議なし〉

委員（坊野公治君） その上の文章も、先ほど事務局言われたように、「公営住宅法に係る」を先に持ってくるほうが文章的には読みやすいのかなと思いますので、それもそちらに

変更したほうがよろしいと思います。

委員長（荒木謙二君） そういった意見ですが、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それから、新規就農者の「者」をというふうなことで、
「者」はつけるか、つけないか。

委員（坊野公治君） この段階では案でありますので、そのときに調査したタイトルどお
りで、最終的にタイトルが変わるのは、それも一つの検討した内容だろうと思いますので、
このままでよろしいと思います。

委員長（荒木謙二君） 変わらないということで、「者」は残すということで。
よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それから、6月19日、移住・定住についても行政視察等々を行
っておるというふうなことで、これについても調査したというふうなことをつけ加えるとい
うことでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、そのように取り計らわさせていただきます。
何かありますでしょうか、ほかに。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） ないようでしたら、4の行政視察の実施内容について、事務局、
読み上げをお願いいたします。

〈事務局、政策提言書（案）「4. 行政視察の実施内容」を朗読〉

委員長（荒木謙二君） 以前は、それぞれの項目に「行政視察を実施しました」というふ

うな文言がありました、これを全て箇条書きにしております。

委員の方から何かありますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） 事務局何かありますか。

主査（柳本兼志君） ないです。

委員長（荒木謙二君） 次の5、6ページの5、所管事務調査や行政視察から見えてきたことを朗読をお願いいたします。

〈事務局、政策提言書（案）「5. 所管事務調査や行政視察から見えてきたこと」を朗読〉

委員長（荒木謙二君） 私の見たところでは、以前検討していただいた点は直っているんじゃないかなというふうに思いますが、ほかの委員の方、何かありますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） 事務局からは。

主査（柳本兼志君） 上から2段落目、「これらの調査から」1行目の後ろのほうですが、「近隣他市」という単語ですが、矢掛町等も近隣にあるということで「近隣市町」のほうがいいのかという点、次に真ん中あたりになりますが、「これらの調査結果から」という段落の4行目、一番最初の文字が「地域振興施策としては」というところですが、この「は」が要るのかどうか。

2ページ目になりますが、下から5行目ですが、「それぞれの地域の特徴などを考慮した実効性のある具体的な支援体制」というところが少しわかりにくいのかなと感じました。

委員長（荒木謙二君） まず、「近隣他市」を「近隣市町」というふうなことで、いかがいたしましょう。

委員（坊野公治君） これは「町」も入れたほうが良いと思います。

委員長（荒木謙二君） 「近隣市町」ということで、ほかの委員の方、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） そしたら、そのように直します。

それから「地域振興施策としては」の「は」を取るか、取らんか、ちょっとここのニュアンスがようわからんのじゃけど。

主査（柳本兼志君） 読みやすくなるぐらいのところですよ。

委員長（荒木謙二君） そしたら、もうそのままということですよ。

それから、7ページの下から5行目がちょっとわかりにくいということなんですけど、いかがでしょうか。

委員（坊野公治君） 文章的には少しわかりにくいんですが、もうこの表現しかないかなというような気もするんですが。

委員長（荒木謙二君） ほかの委員の方、このままでよろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） そしたら現状のままというふうなことで進めさせていただきます。

次に、6の具体的な提言内容について、事務局読み上げをお願いします。

〈事務局、政策提言書（案）「6. 具体的な提言内容」を朗読〉

委員長（荒木謙二君） この具体的な提言内容については、1項目めの「市北部地域」というふうに直しております。3項目めの「移住の後」を「移住後」、前は「しながら」の「ながら」を取るというふうなことで決定しているようなのですが、ここではそのままつけておりますが……。それから、最後の行は「行うこと」に直しております。

これ、事務局、直し忘れということですか。

主査（柳本兼志君） はい、そうです。失礼いたしました。

委員長（荒木謙二君） ちょっともう一回、「ながら」を取って3項目めを読んでください。

主査（柳本兼志君） 3、新規就農者が移住後農業次世代人材投資資金などを活用し、健全経営できる仕組みづくりを関係団体や地域との協働により行うこと。

委員長（荒木謙二君） 皆さん、これでよろしいですね。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 次に、資料に移らせていただきます。

ちょっと目次に戻るんですが、資料1は「井原市移住・定住支援制度」に直っております。

参考資料については、それと本日修正しました「国内の」を入れたり、「全国」を入れるということでございます。

資料について、事務局何かありますか。

主査（柳本兼志君） 資料2なんですが、表の中で北部地域と記載しているところが2カ所ありますが、提言書の中や資料2の説明部分には井原市北部地域と記載しておりますが、北部地域のままの表記でよろしいかという点、17ページ、資料5の平川村定住促進協議会の工夫している点の1、「募集時に就農条件の提示し」というところを「就農条件を」とするか、「提示をし」にするかどうか。

あと、同じく17ページ一番下、この視察に行ったときは、平成29年度参加者2名は体験中であったので就農状況がわからなかったんですが、これをそのまま体験中という表記にするかどうか。

14ページに戻っていただきまして、久米南町の最初の説明の一番下の行、「就農者が空き家を購入したり」ですが、「就農者は」がいいか、「就農者が」がいいか。

①の新規就農者住宅の概要ですが、「長屋建て」と読むんですかね、「長屋建住宅建設」がこのままでいいかどうか。「住宅建設」の「建設」を取るなりの検討が必要かと。

同じく3行目なんですが、これは「兼ねる」が正解ですかね。

委員長（荒木謙二君） まず11ページの北部地域での記載。これは問題ないですかね。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それと、14ページ、「就農者が空き家を購入したり」、このままでいいと思うんですが。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それと、「長屋建て住宅建設」、「建設」を入れるかどうか。

委員（上野安是君） 前に建設したとあるんで、取ってもいいと思います。

委員長（荒木謙二君） 取るということによろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それから「車庫間」、これは「兼」です。あとで行政視察報告書も直しておいてください、直せれば。

主査（柳本兼志君） はい。

委員長（荒木謙二君） 17ページ、「募集時に就農条件の提示」、これは「の」を「を」に直したほうがいいのかなと思うんですが、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 委員の方で、全般で何かありましたら。

主査（柳本兼志君） 最後、体験中はもうこのままでいいですか。

委員（坊野公治君） これはもう数字はとれとん。

主査（柳本兼志君） とってないです。向こうに確認しないとわかりません。

委員（坊野公治君） それでしたら、もう調査したときのままでいいと思います。

委員長（荒木謙二君） よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 提言書全般で、皆様何かありますでしょうか。

ちょっと私から1点よろしいですか、6ページの一番上、今後の「人口減」となっとなですけど、「人口減少」にしたらどんなかなど。ほかは「人口減少」というふうなことで記載があるようなんだけど、ここだけちょっと「人口減」というふうになっとなですが、「少」を入れさせていただいてええですか。

委員（大滝文則君） その下にもあるで、真ん中辺に。

委員（上野安是君） 市北部地域において急激な人口減が、というところ。

委員長（荒木謙二君） 「人口減少」でいくんか、「人口減」でいくか。

委員（坊野公治君） 統一したほうがええでしょうね。

委員（上野安是君） 「減少」でいけばいいと思います。

委員長（荒木謙二君） 「少」を入れるということによろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） 2カ所に「少」を入れるということです。

皆さん、ほかに何かありましたら。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） ないようでしたら、字句の整理をさせていただきまして、1月31日の全員協議会のほうに建設水道委員会の政策提言書として提出させていただくというふうなことの運びになりますが、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） それでは、所管事務調査については終わらせていただきます。

委員の方で何かありましたら。

委員（大滝文則君） 皆様のご努力でまとまったわけですが、もとへ戻りまして、葡萄浪漫館で最初お集まりいただいた方にこういうことで執行部のほうへお願いしたということをやはりちょっとお伝えする機会が必要ではないかと思imasるので、ぜひその辺を手配をよろしくお願ひしたいということをお願ひしときます。

委員長（荒木謙二君） 昨年は2月6日にブドウ生産関係者の方と懇談会というふうな形でお話をさせていただきました。その前の年にも2月に同様にされて、それがうったてとなってこのような移住・定住施策について、この委員会で所管事務調査として始まっております。今大滝委員から、こうしたものができたというふうなことを含めて、懇談会というふうなことをもう一回というふうな声でございますが、皆さん、それについてはいかがでしょうか。

〈異議なし〉

委員長（荒木謙二君） ほかに委員の方から何かありますでしょうか。

〈なし〉

委員長（荒木謙二君） ないようでしたら、これをもちまして建設水道委員会を閉会とさせていただきます。